

最近の経済動向

平成27年9月号

(平成27年7月の経済指標を中心として)

【北海道の景気概況】

緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

〔需要動向（消費・投資）〕

- P 1 ■個人消費 ～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる
大型小売店販売額
コンビニエンスストア販売額
新車登録台数
- P 2 ■住宅建設 ～ 持ち直しの動きがみられる
新設住宅着工戸数
- P 3 ■公共工事 ～ 減少している
公共工事請負金額
- P 3 ■観光 ～ 改善している
来道者数
- P 4 ■輸出入 ～ 輸出額、輸入額とも前年を上回った
輸出入額

〔生産動向〕

- P 5 ■生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている
鉱工業生産指数
- P 5 ■電力 ～ 前年を下回った
電力需要
- P 6 ■企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少した
倒産件数
負債総額

〔雇用動向〕

- P 7 ■求人・求職 ～ 緩やかに改善している
月間有効求人数・求職者数
有効求人倍率
- P 8 ■失業
完全失業者数
完全失業率

〔物価動向〕

- P 8 ■物価 ～ 消費者物価指数は前年を下回った
消費者物価指数

〔企業情報〕

- P 9 ■企業のみなさまから伺いました

〔地域の経済動向〕

- P 11 ■地域の経済動向
道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

〔景気動向指数・全国の景気〕

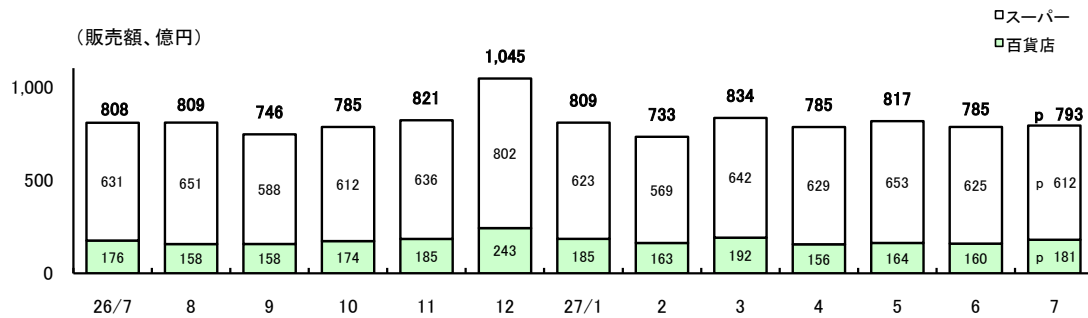
- P 17 ■北海道の景気動向指数
- P 18 ■全国の景気

[需要動向(消費・投資)]

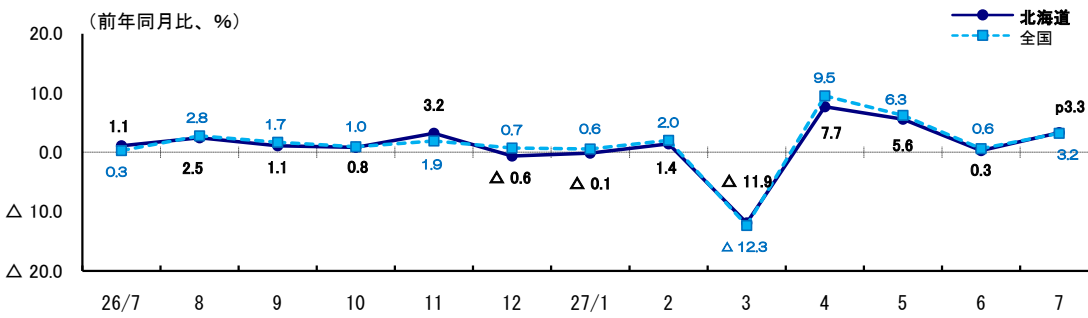
■個人消費～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

◆大型小売店(全店)販売額(7月)◆

大型小売店販売額は、793億円で前年同月比3.3%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。



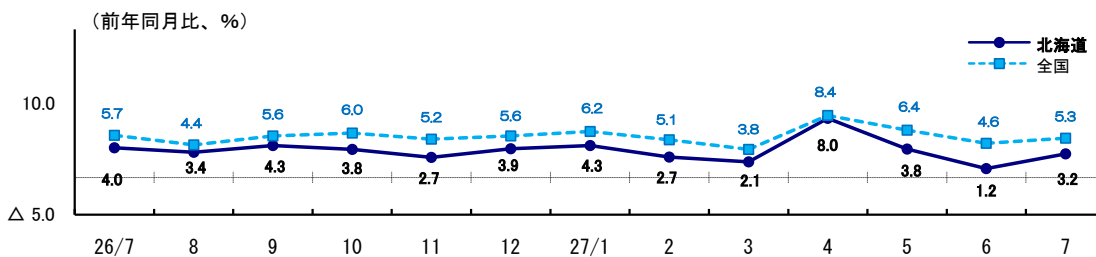
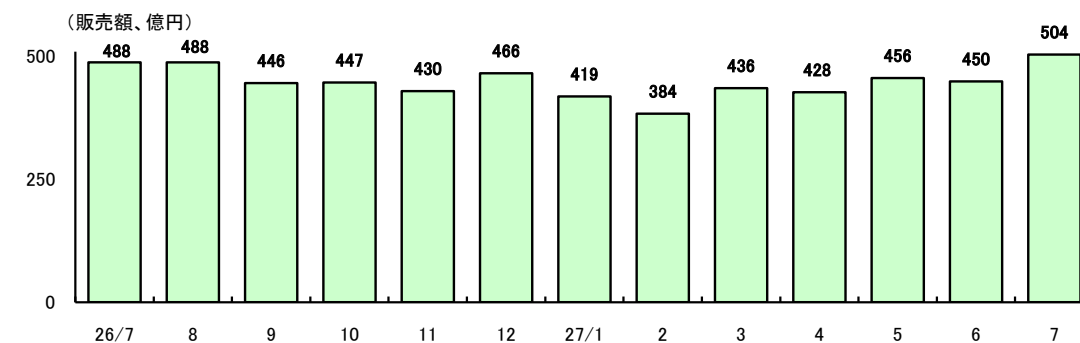
(注)pは速報値(以下同様)



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆コンビニエンスストア(全店)販売額(7月)◆

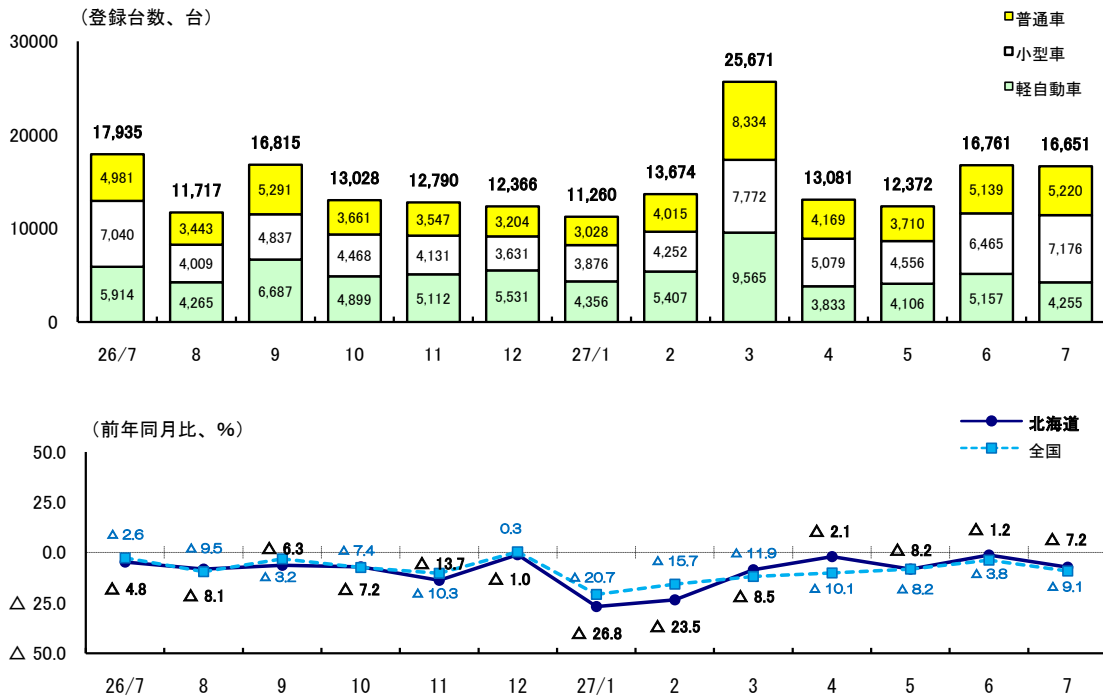
コンビニエンスストア販売額は、504億円で前年同月比3.2%の増加となり、22か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数（7月）◆

新車登録台数は、16,651台で前年同月比7.2%の減少となり、16か月連続で前年を下回った。

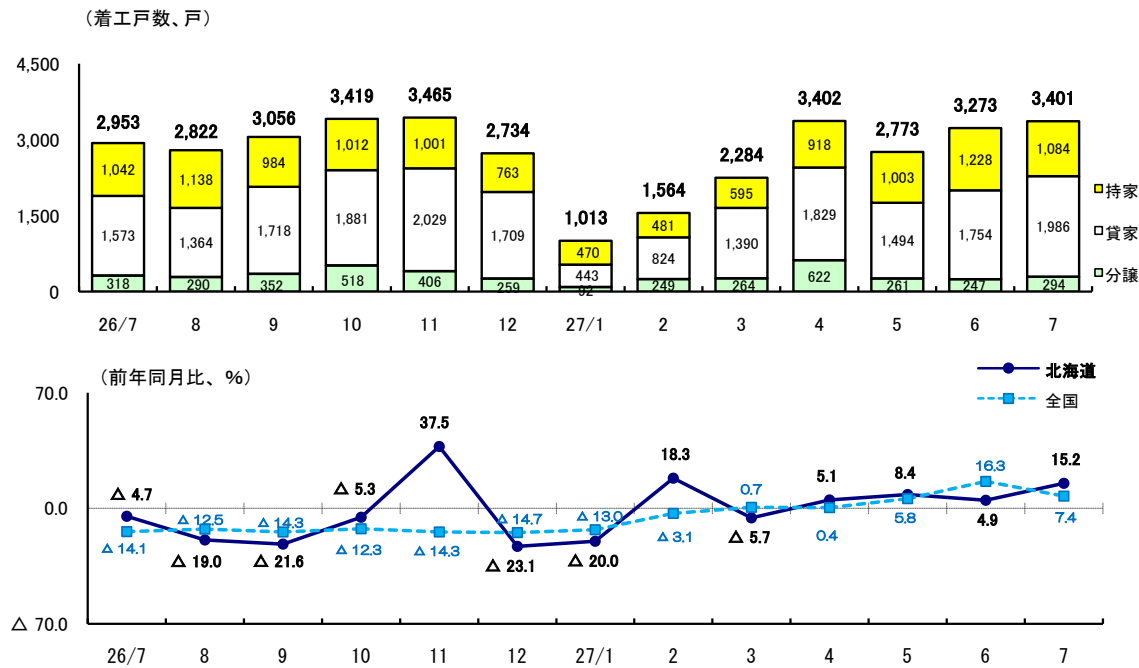


(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設 ～ 持ち直しの動きがみられる

◆新設住宅着工戸数（7月）◆

総戸数は、3,401戸で前年同月比15.2%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。

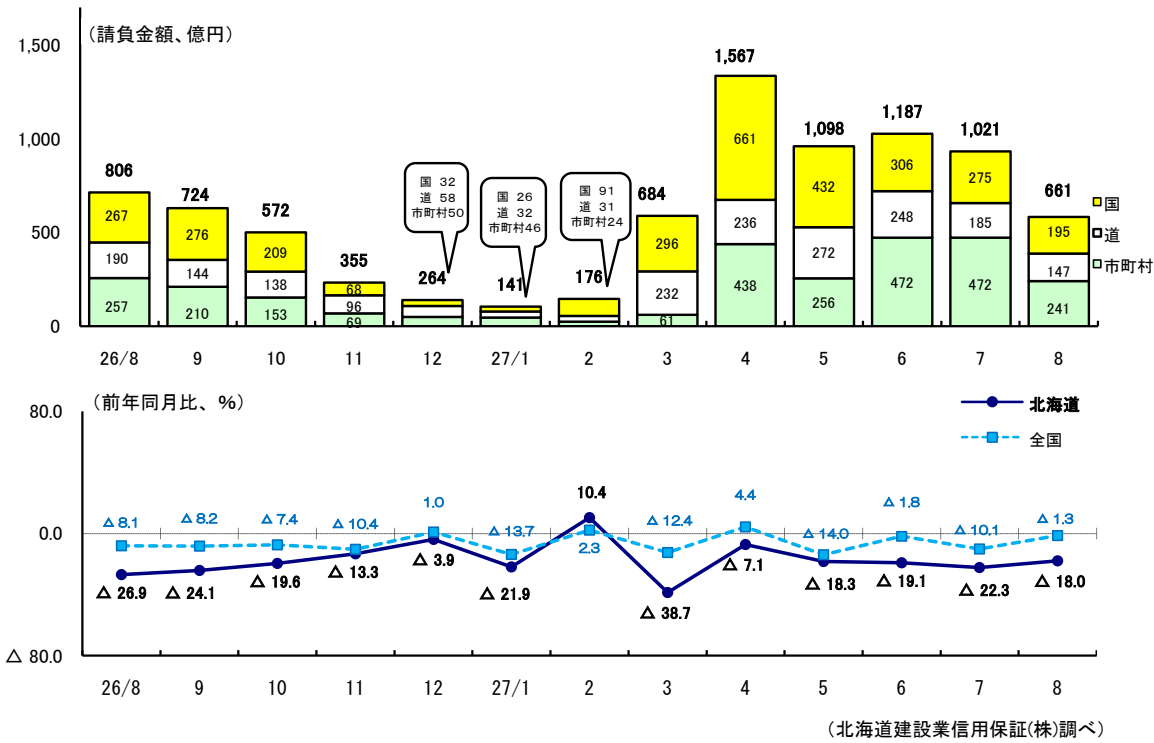


(国土交通省住宅局調べ)

■公共工事 ～ 減少している

◆公共工事請負金額（8月）◆

請負金額は、661億円で前年同月比18.0%の減少となり、6か月連続で前年を下回った。

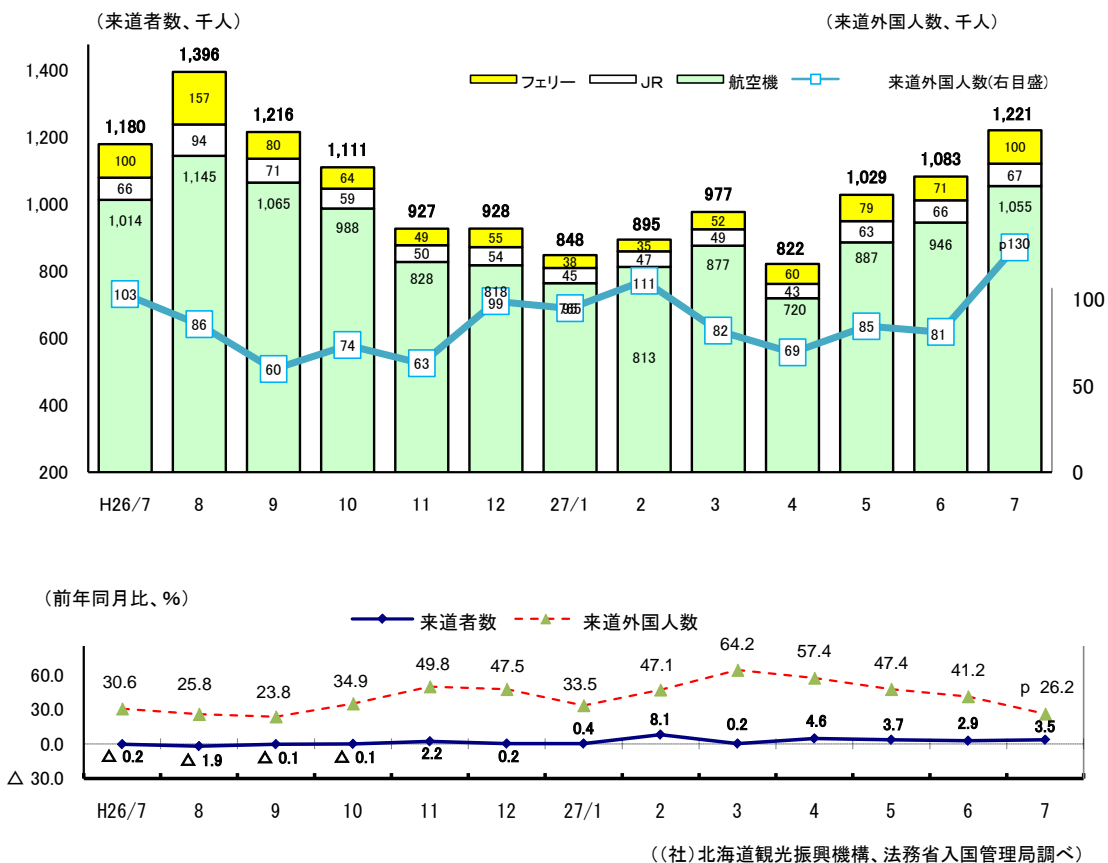


■観光 ～ 改善している

◆来道者数（7月）◆

来道者数は、122万1千人で前年同月比3.5%の増加となり、9か月連続で前年を上回った。

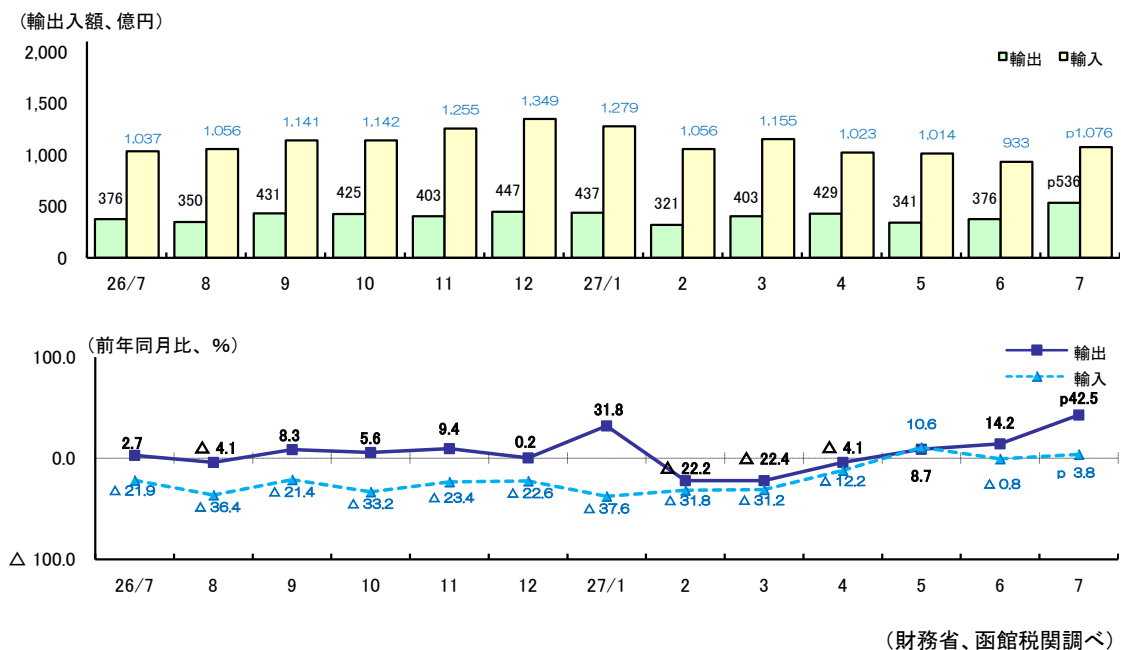
本道に直接入国した外国人は、13万人で同26.2%の増加となり、30か月連続で前年を上回った。



■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を上回った

◆輸出入額（7月）◆

輸出額は、536億円で前年同月比42.5%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。
輸入額は、1,076億円で同3.8%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。

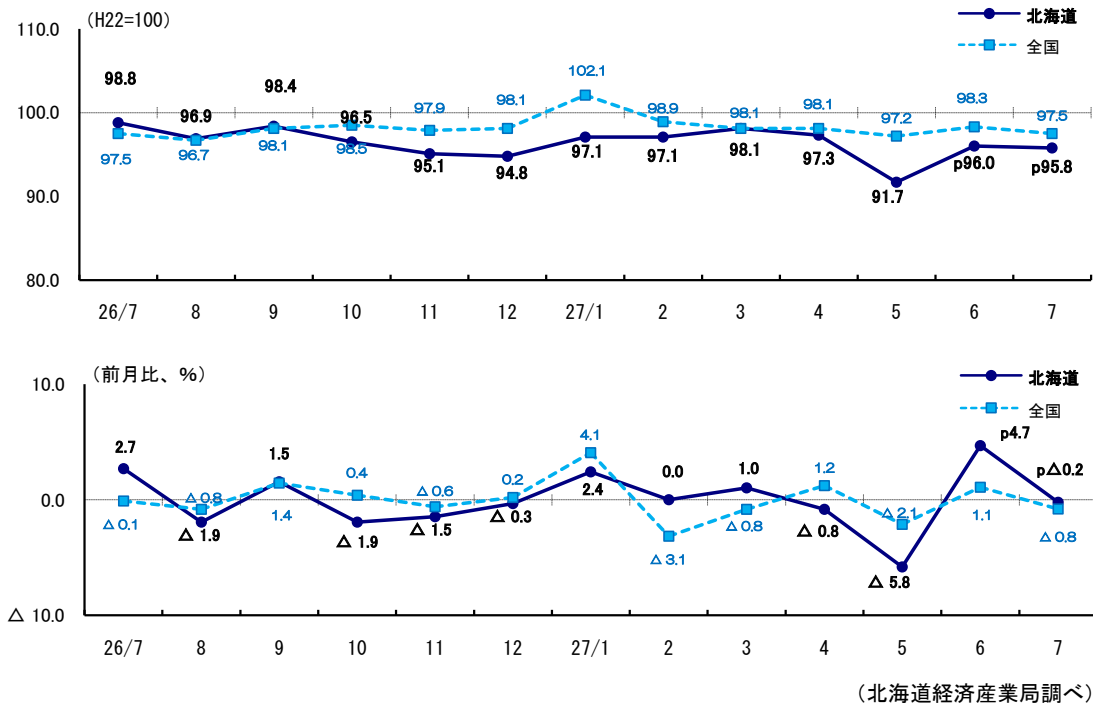


[生産動向]

■生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている

◆鉱工業生産指数（7月）◆

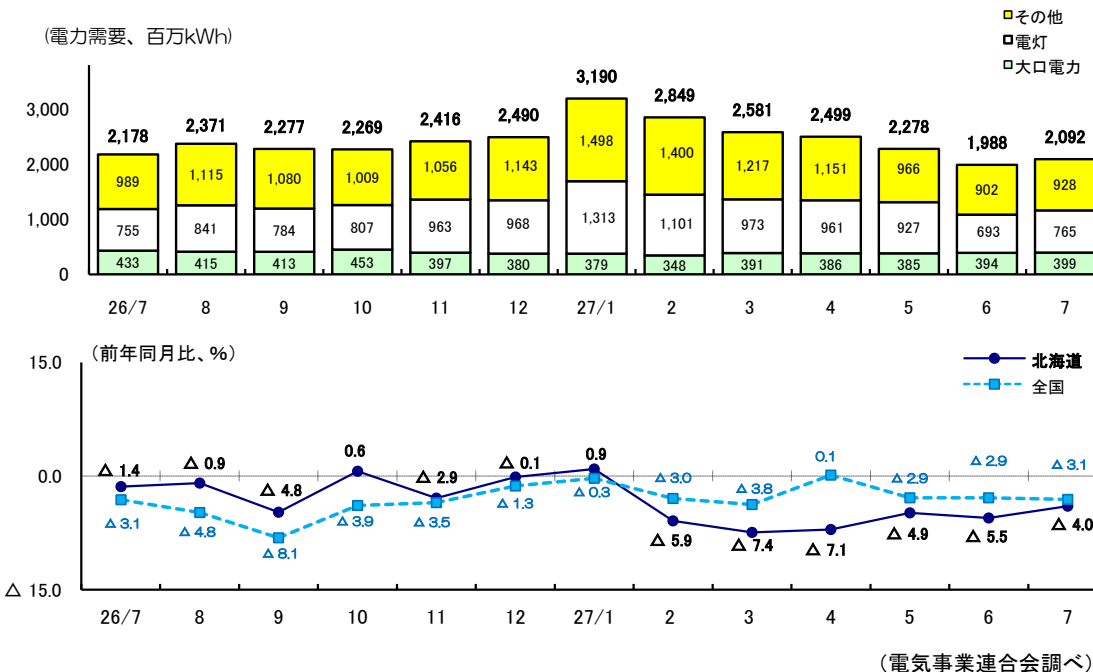
鉱工業生産指数(季節調整済)は、95.8で前月比0.2%の減少となり2か月ぶりに前月を下回った。



■電 力 ～ 前年を下回った

◆電力需要（7月）◆

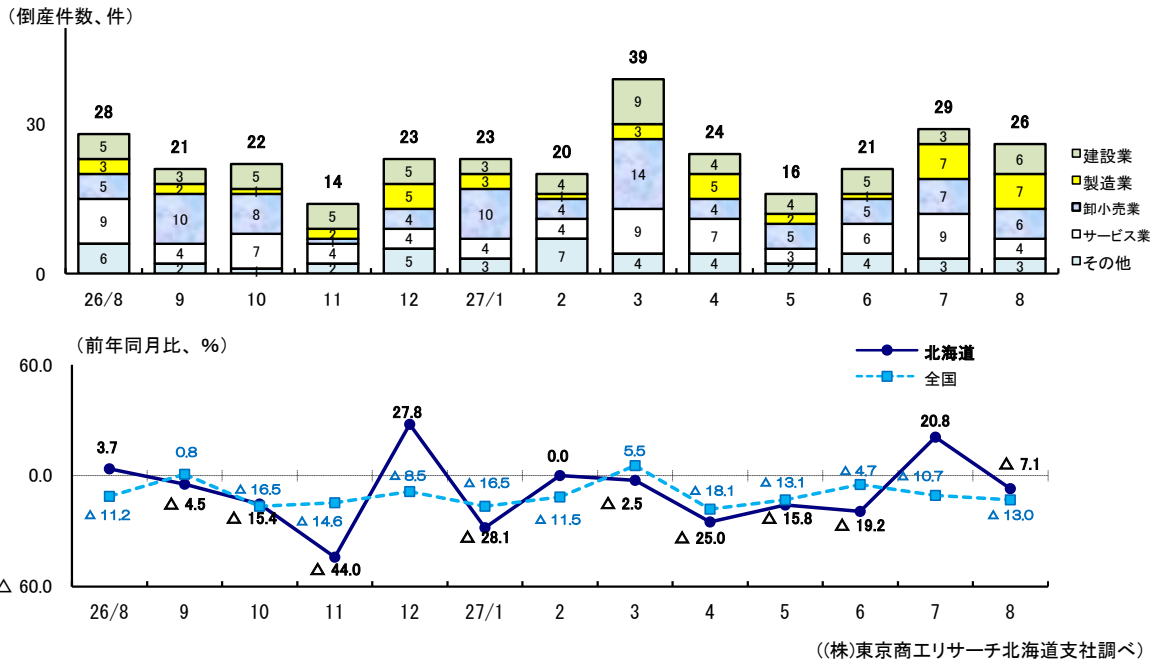
電力需要は、2,092百万kWhで前年同月比4.0%の減少となり、6か月連続で前年を下回った。



■企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少した

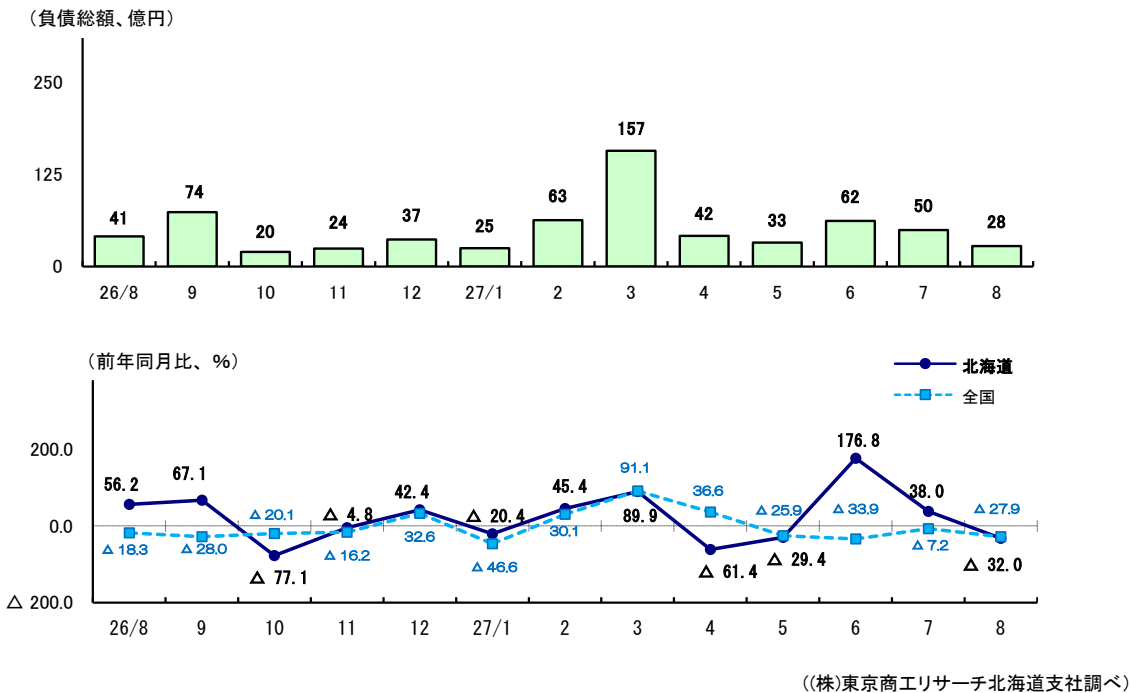
◆企業倒産件数（8月）◆

企業倒産件数は、26件で前年同月比7.1%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。



◆負債総額（8月）◆

負債総額は、28億円で前年同月比32.0%の減少となり、3か月ぶりに前年を下回った。

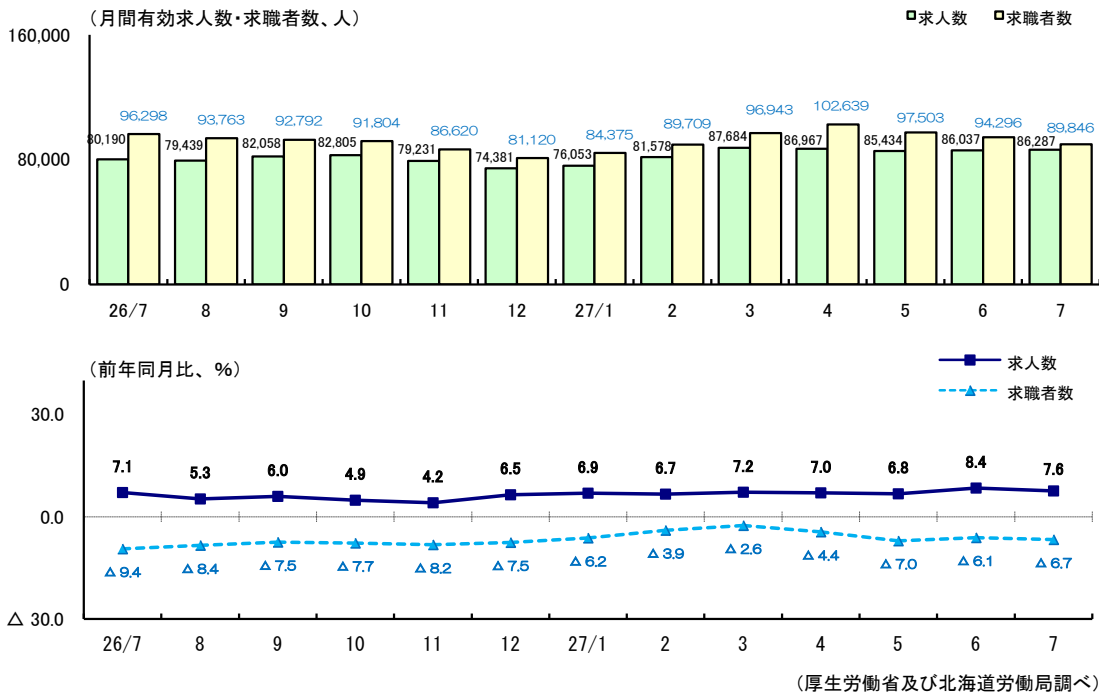


[雇用動向]

■求人・求職～ 緩やかに改善している

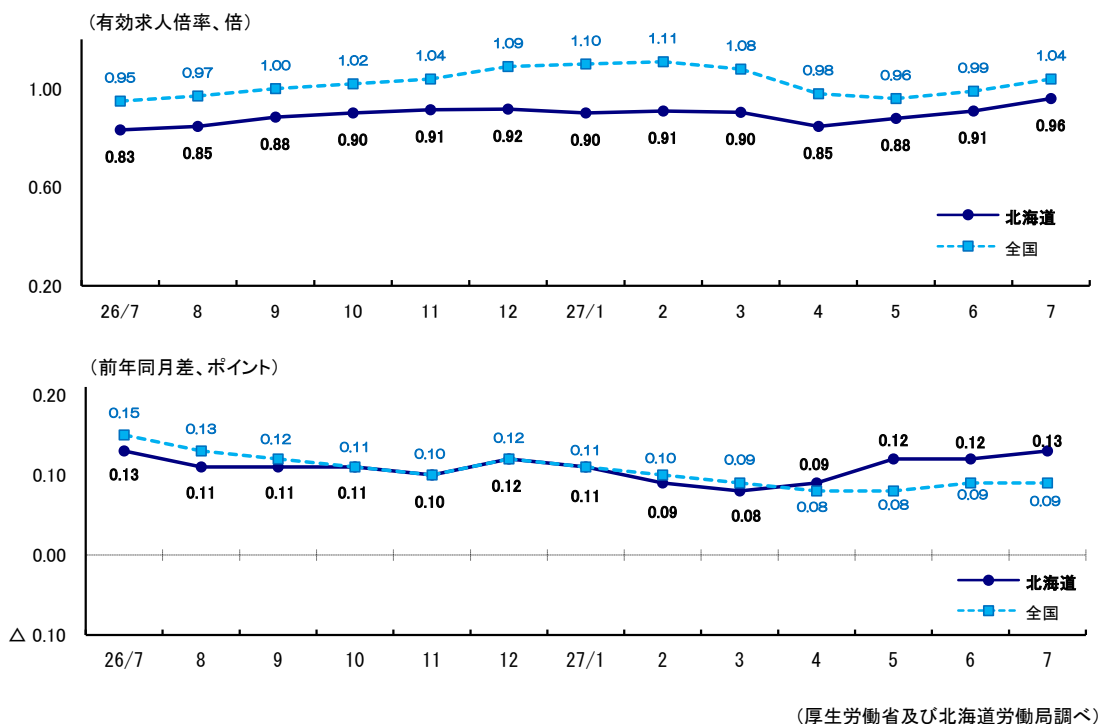
◆月間有効求人数・求職者数（7月）◆

月間有効求人数は、8万6,287人で前年同月比7.6%の増加となり、66か月連続で前年を上回った。
月間有効求職者数は、8万9,846人で同6.7%の減少となり、45か月連続で前年を下回った。



◆有効求人倍率（7月）◆

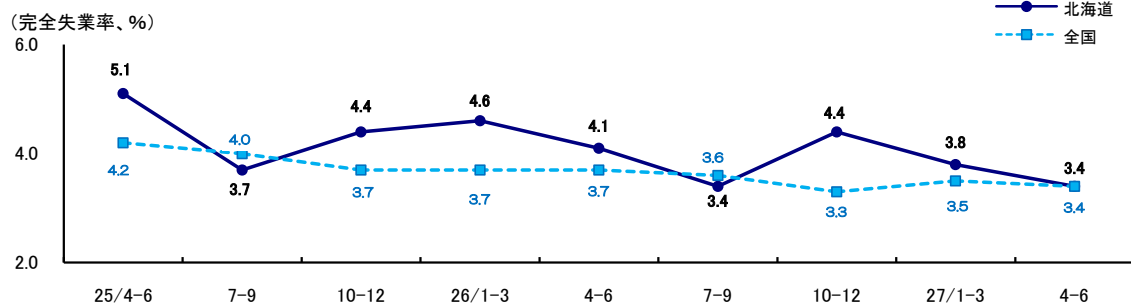
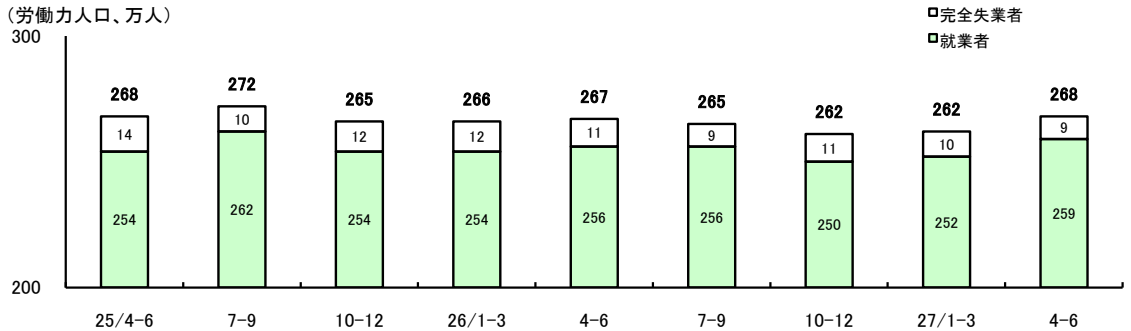
有効求人倍率は、0.96倍で前年同月差で0.13ポイントの増加となり、66か月連続で前年を上回った。



■失 業

◆完全失業者数、完全失業率（27年4-6月期）◆

完全失業者数は、9万人で前年同期と比べ2万人の減少となっている。
完全失業率は、3.4%で前年同期から0.7ポイント低下した。



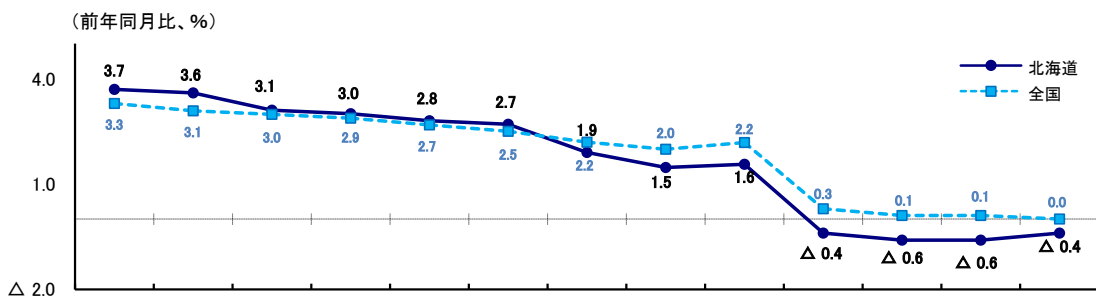
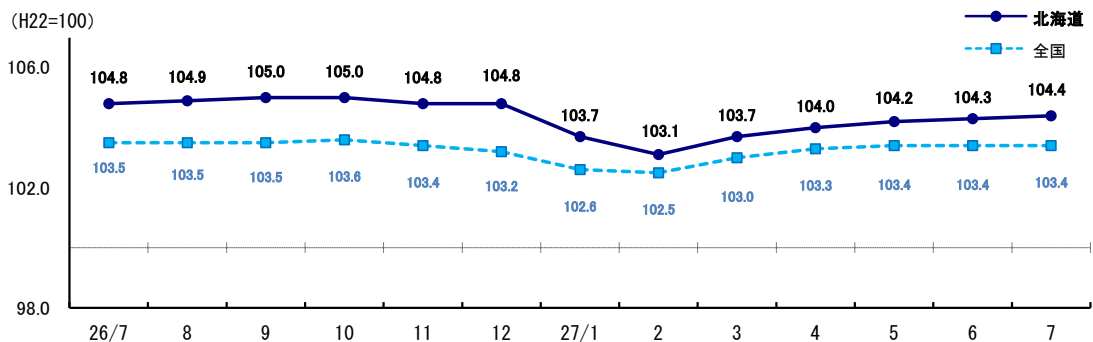
(総務省調べ)

[物価動向]

■物 価 ～ 消費者物価指数は前年を下回った

◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（7月）◆

消費者物価指数は、104.4で前年同月と比べ0.4%の低下となり、4ヶ月連続して前年を下回った。



(総務省調べ)

[企業情報]

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店(道央圏)

【天候の影響を大きく受けた8月の売り上げ】

8月前半は天候に恵まれ、気温の高い日が続いたことで、7月から続くクリアランスセールによる夏物衣料品が好調だったが、後半は、秋物にも一部動きが見られたが、天候が良くなかったため、客足が伸びず、衣料品の売り上げが鈍化したことで、全体の売り上げについては、前年同期を下回る結果となった。

そのような中、国内富裕層の顧客や外国人観光客にバックなどのブランド品が好評で、高級腕時計や宝飾品なども売れ行きが好調だった。

◆スーパー(道央圏)

【売上は堅調】

8月は、局地的な大雨の地域があったが全体的に降水量が少なく、気温も平年並みに推移したことから、売上については、前年同期に比べ微増となった。

特に8月は、行楽需要により鶏肉・ラム肉などの肉類、弁当・唐揚げなどのデリカ部門、ドライ飲料などが好調だった。

グロサリー部門などの商品では、お客様の価格への反応等から節約志向が続いていると感じる。

◆コンビニエンスストア(道央圏)

【堅調に推移】

8月は、前年の同月と比べると、来客数は横ばいであったが、商品単価が上昇したため、売上高は増加した。

飲料水・ビール等の夏型商品は、気温が高かった月の前半は売上が好調だったが、気温が上がらなかった後半は売上が伸びなかったなど気温の影響を大きく受けたが、弁当や惣菜は、1ヶ月を通して堅調に推移した。

◆食料品小売業(道北圏)

【売上は昨年並みを維持】

8月の売り上げは、前年同月比1ポイントの上昇であった。今期はほぼ前年並みを維持出来ている。

客数は、前年より良かったが、帰省客の入りなどが増えたため、既存の客数が増加したという認識は持っていない。

【価格の上昇による顧客の買い控え】

各売り場の担当者も「かつてない」と口を揃えるほど、商品価格が上昇している。

消費税増税の直後に比べると回復傾向にあるものの、必要な物以外は買わないという買い控え傾向に加え消費者の価値観の変化を感じる。

売上げを伸ばすためには、生活に必要な物を切らすこと無く売り場に揃えることに加えて、旬の美味しさやトレンドを意識した売り場づくりが必要である。

【今後も現状維持を目標】

今後も人口減や過疎化の進展など、地方の環境は一層厳しくなることから、今以上の売上拡大は困難であると考えており、より一層の粗利益の確保のために注力するとともに、様々な顧客のニーズに対応できるような体制づくりを進めていく必要がある。

◆水産加工食品卸売業(道北圏)

【水産資源や売上げの状況】

ホタテの生産については、今まで安定供給が続いていたが、今春の低気圧によりホタテ資源に甚大な影響があったことから、前年と比べて売上げは大幅に減少した。

また、ホタテ以外の魚介類についても、資源量の枯渇などから浜値が上昇するなど、宗谷の水産環境は、厳しい状況が続いている。

商品の輸出を主力にしていることから、この頃の円安は追い風となっており、中国やアメリカなどとの取引は順調に推移している。

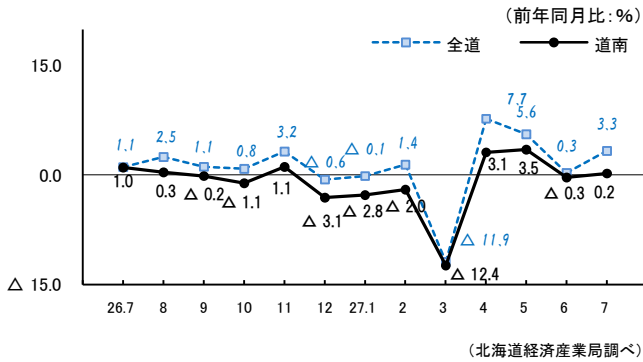
【今後もホタテを主力】

今後も前浜で採れた天然ホタテというブランドを活かし、ホタテ加工商品を中心に生産を続けていくこととしているが、低気圧被害の影響が3年程度残るものと考えられていることから、将来的には、他の魚介類も念頭においた体制整備についても考えていく必要がある。

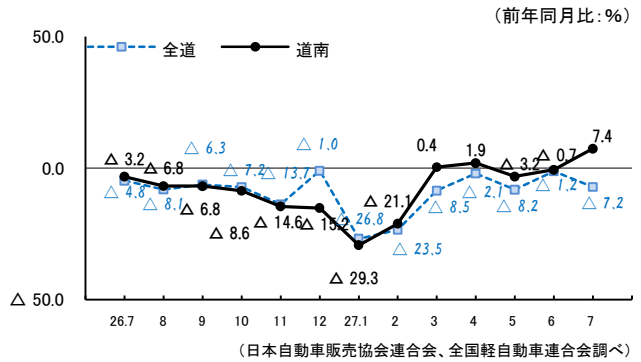
[地域の経済動向]

■道南圏

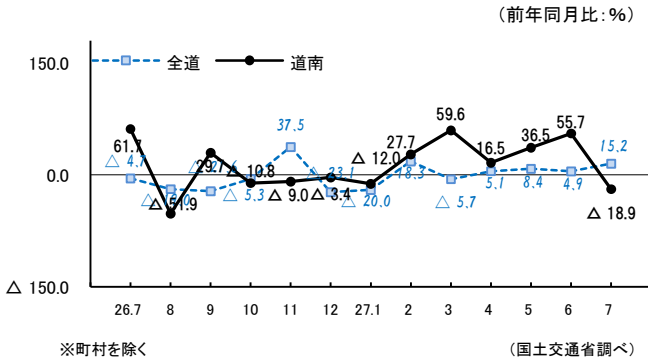
◆大型小売店販売額(全店、函館市) (7月)◆ 2か月ぶりに前年を上回った



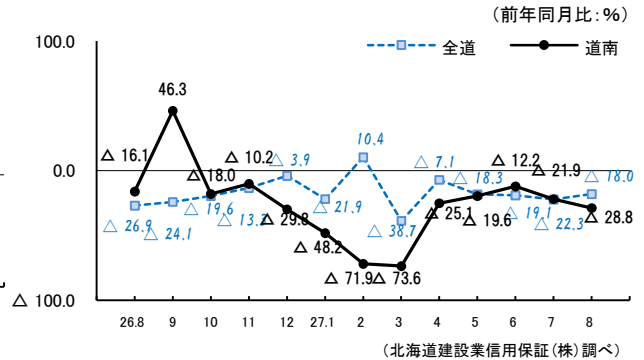
◆新車登録台数(乗用車) (7月)◆ 3か月ぶりに前年を上回った



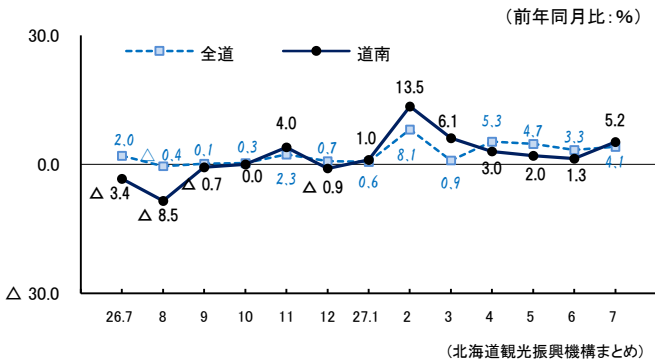
◆新設住宅着工戸数 (7月)◆ 6か月ぶりに前年を下回った



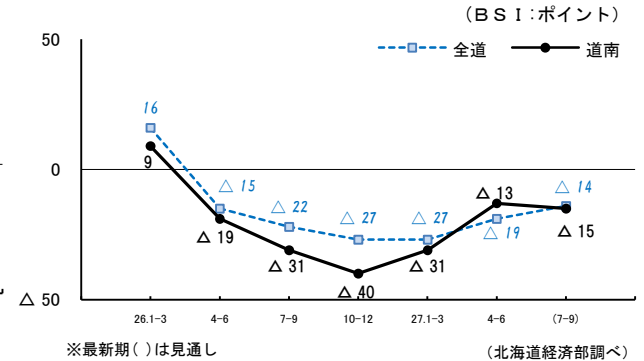
◆公共工事請負金額 (8月)◆ 11か月連続で前年を下回った



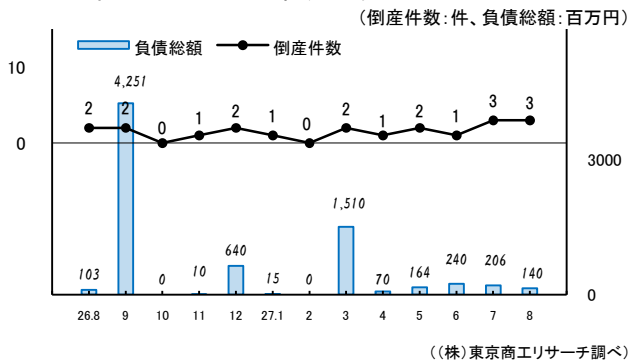
◆航空機利用による来道者数(着地別) (7月)◆ 7か月連続で前年を上回った



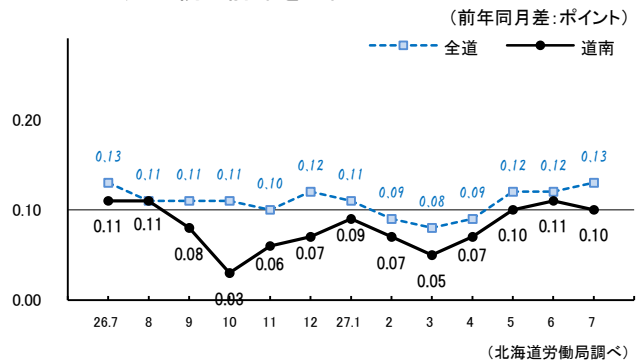
◆企業の業況感 (4-6月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額 (8月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



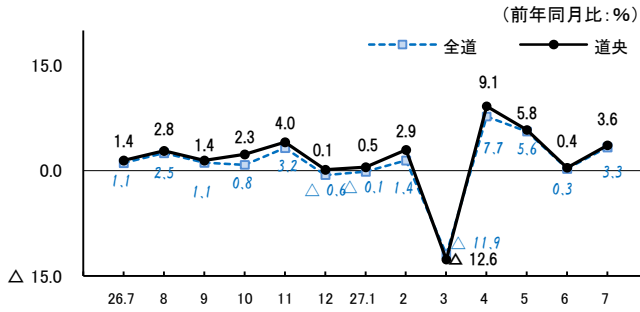
◆有効求人倍率 (7月)◆ 63か月連続で前年を上回った



■道央圏

◆大型小売店販売額（7月）◆

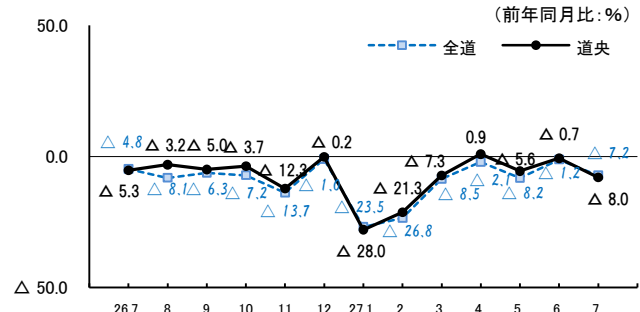
（全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市）
4か月連続で前年を上回った



（北海道経済産業局調べ）

◆新車登録台数(乗用車)（7月）◆

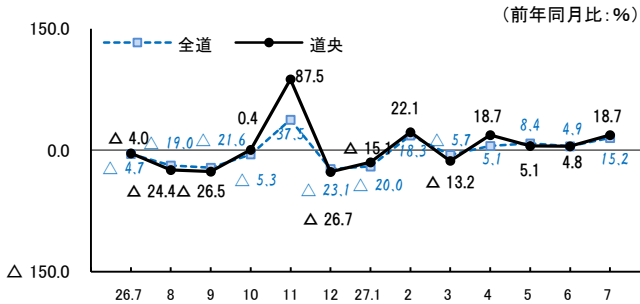
3か月連続で前年を下回った



（日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ）

◆新設住宅着工戸数（7月）◆

4か月連続で前年を上回った

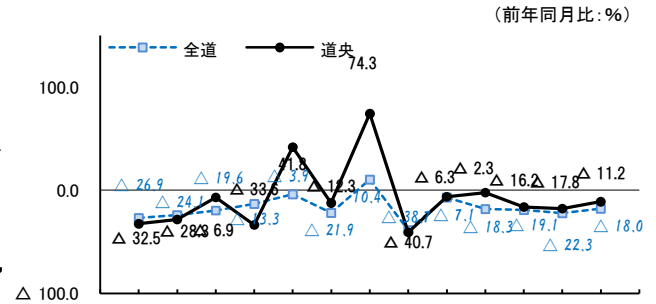


※町村を除く

（国土交通省調べ）

◆公共工事請負金額（8月）◆

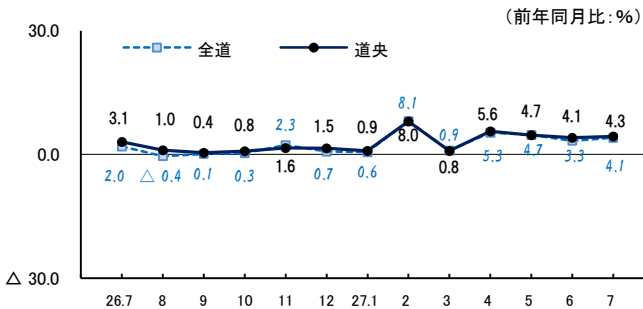
6か月連続で前年を下回った



（北海道建設業信用保証（株）調べ）

◆航空機利用による来道者数(着地別)（7月）◆

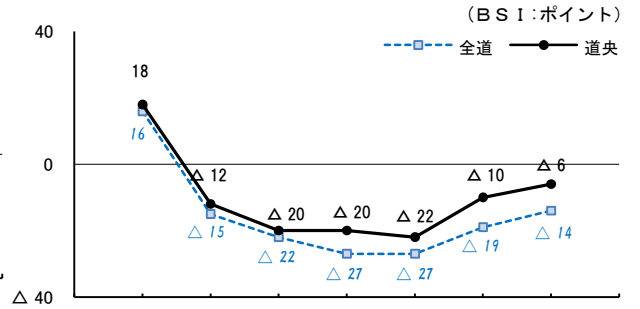
13か月連続で前年を上回った



（北海道観光振興機構まとめ）

◆企業の業況感（4-6月期）◆

前期からマイナス幅が縮小した

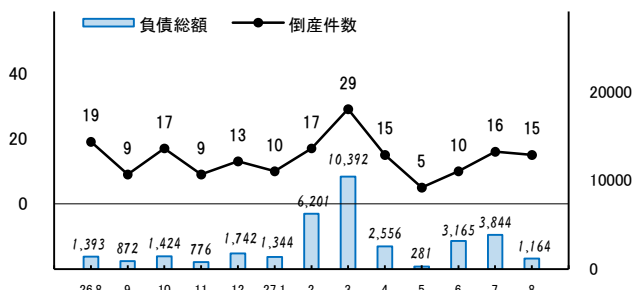


※最新期()は見通し

（北海道経済部調べ）

◆企業倒産件数・負債総額（8月）◆

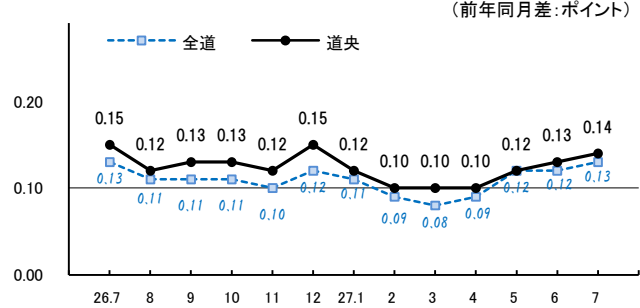
10億円以上の大型倒産は発生しなかった
（倒産件数:件、負債総額:百万円）



（株）東京商工リサーチ調べ）

◆有効求人倍率（7月）◆

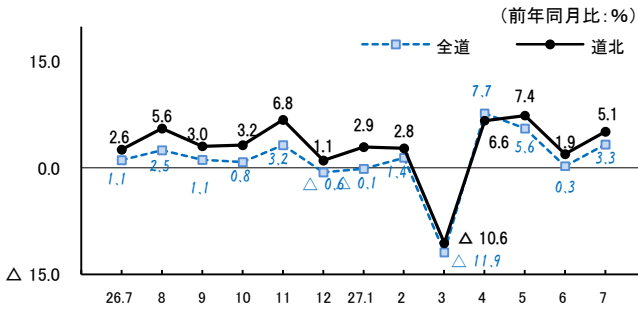
65か月連続で前年を上回った



（北海道労働局調べ）

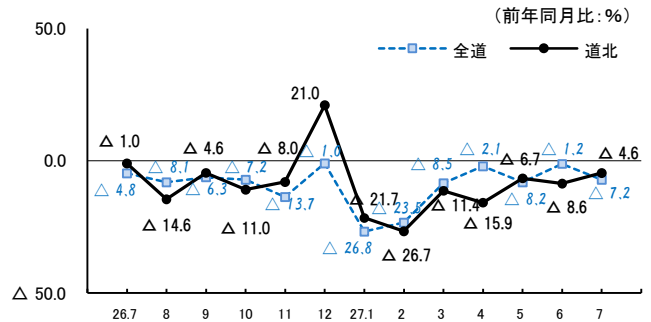
■道北圏

◆大型小売店販売額(全店、旭川市) (7月)◆ 4か月連続で前年を上回った



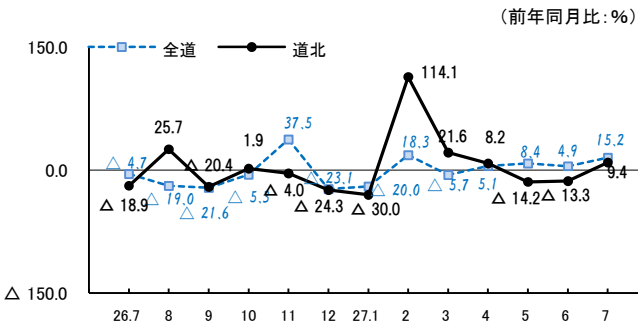
(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (7月)◆ 7か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会調べ)

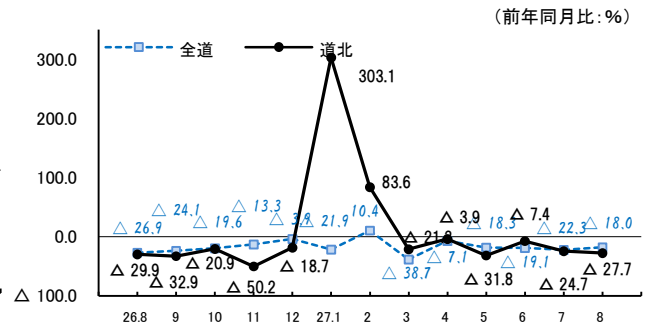
◆新設住宅着工戸数 (7月)◆ 3か月ぶりに前年を上回った



※町村を除く

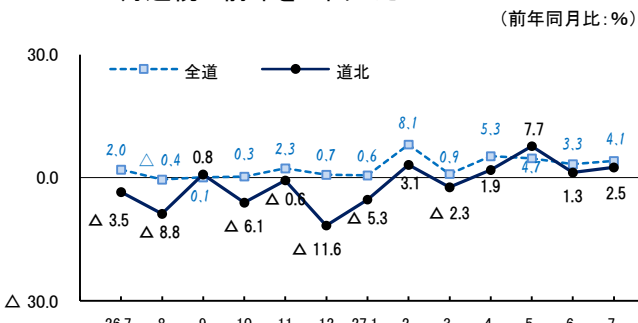
(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (8月)◆ 6か月連続で前年を下回った



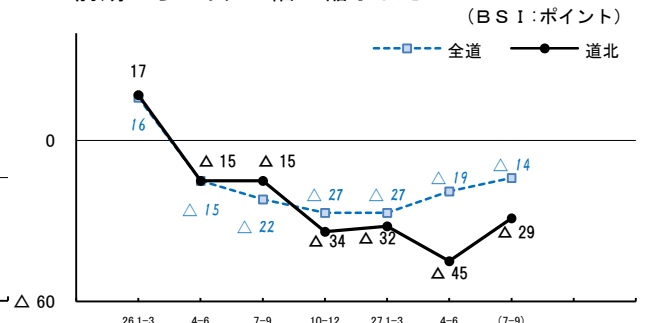
(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (7月)◆ 4か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構まとめ)

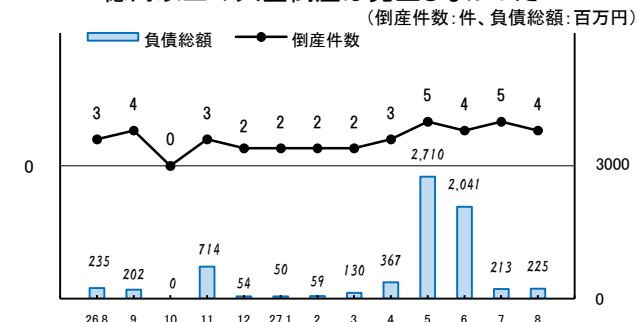
◆企業の業況感 (4-6月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



※最新期()は見通し

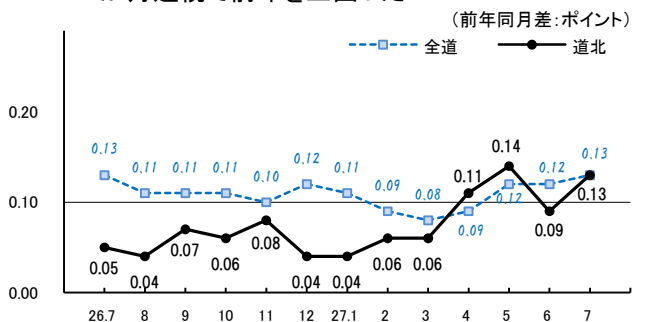
(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額 (8月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率 (7月)◆ 67か月連続で前年を上回った

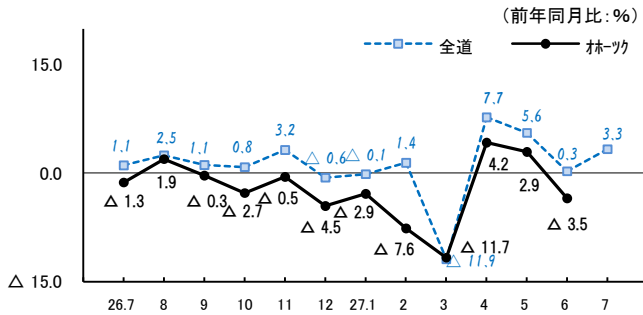


(北海道労働局調べ)

■オホーツク圏

◆主要小売店売上高(全店)(6月)◆

3か月ぶりに前年を下回った

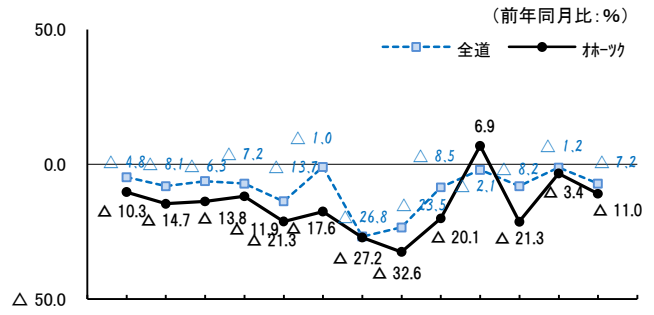


※全道は大型小売店販売額

(財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(7月)◆

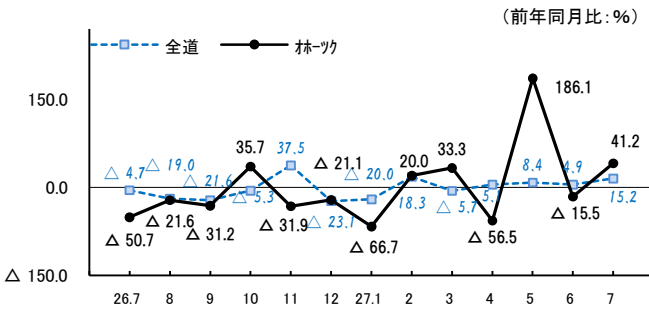
3か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会調べ)

◆新設住宅着工戸数(7月)◆

2か月ぶりに前年を上回った

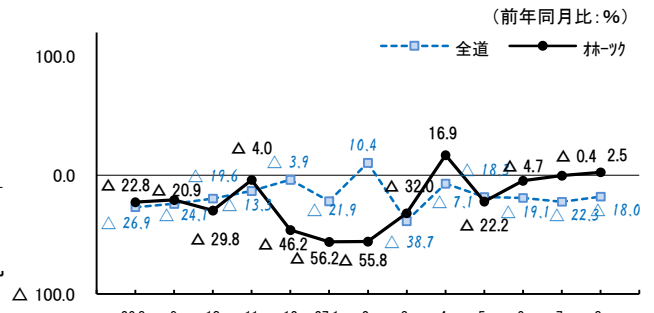


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(8月)◆

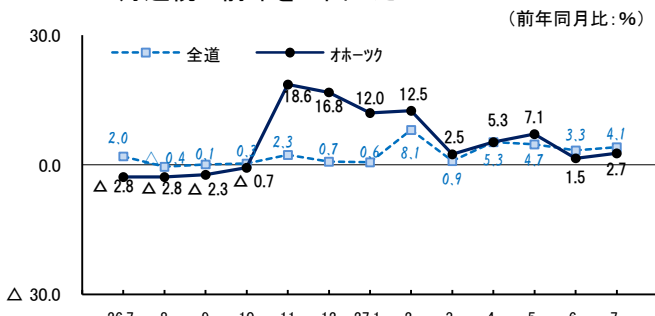
4か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(7月)◆

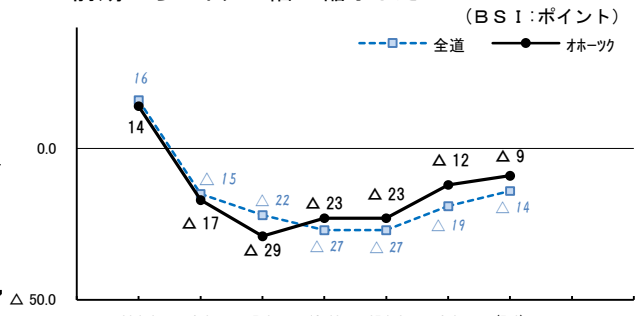
9か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(4-6月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



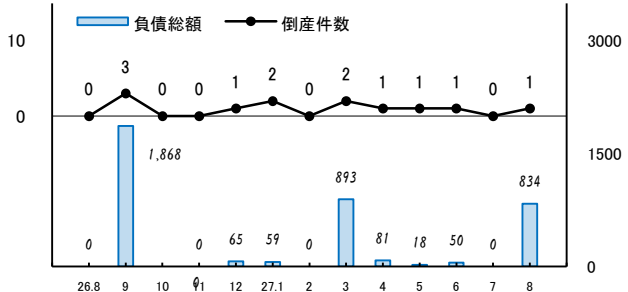
※最新期()は見直し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(8月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

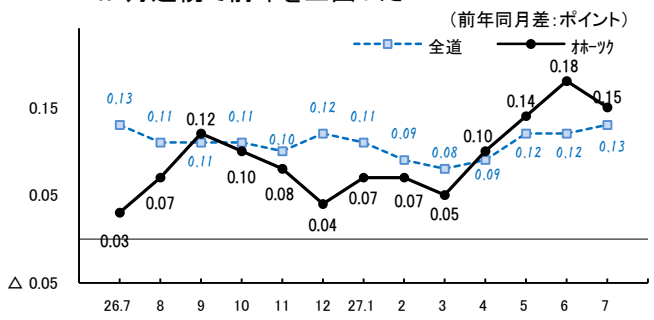
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



((株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(7月)◆

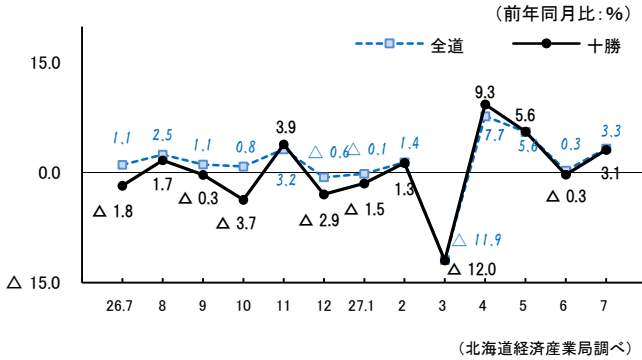
70か月連続で前年を上回った



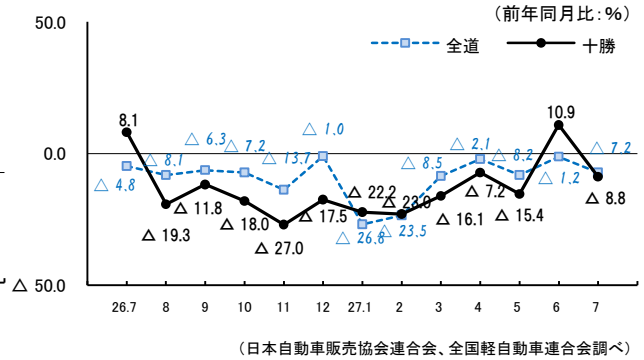
(北海道労働局調べ)

■十勝圏

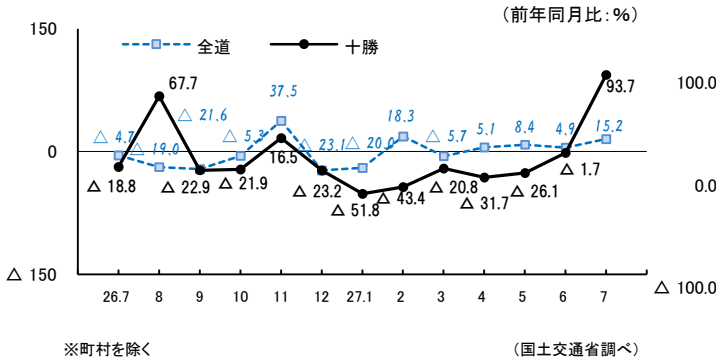
◆大型小売店販売額(全店、帯広市) (7月)◆ 2か月ぶりに前年を上回った



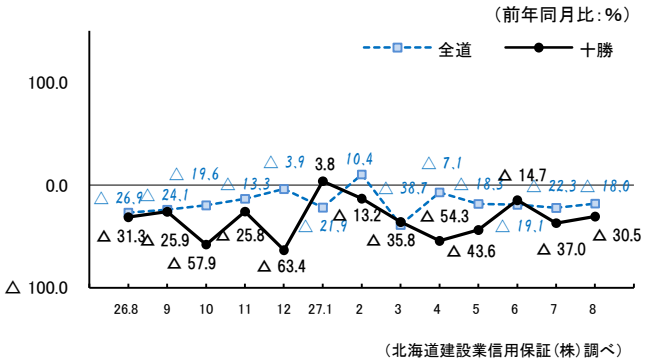
◆新車登録台数(乗用車) (7月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



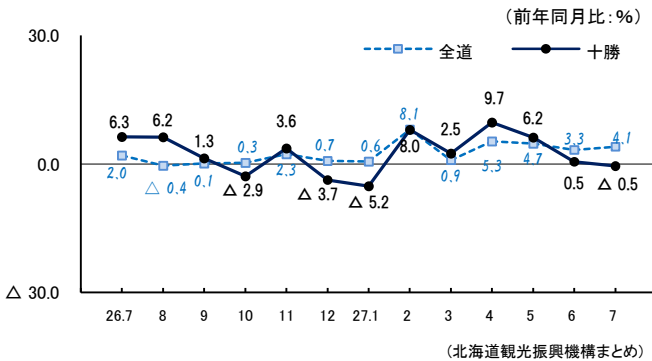
◆新設住宅着工戸数(7月)◆ 8か月ぶりに前年を上回った



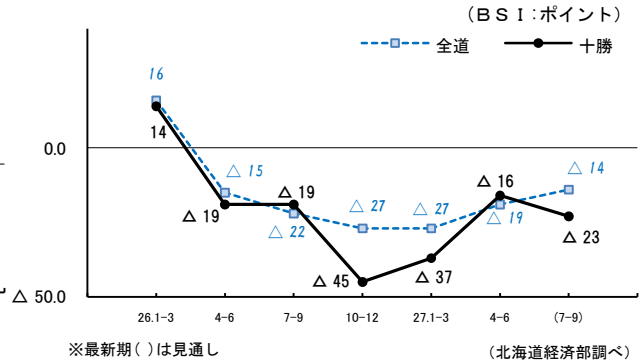
◆公共工事請負金額(8月)◆ 7か月連続で前年を下回った



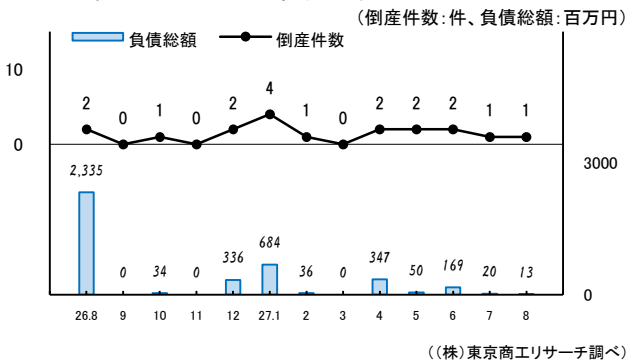
◆航空機利用による来道者数(着地別) (7月)◆ 6か月ぶりに前年を下回った



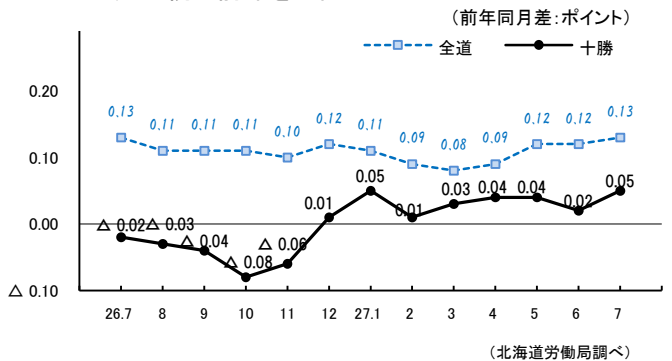
◆企業の業況感(4-6月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額(8月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



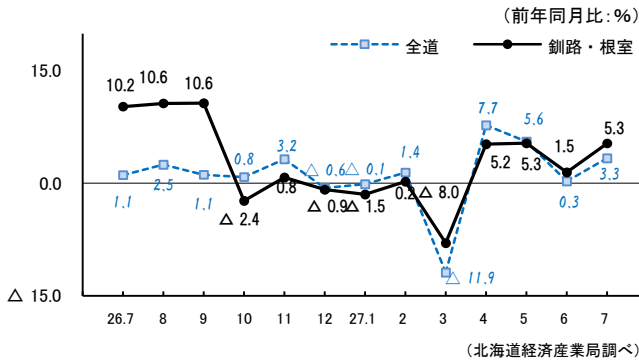
◆有効求人倍率(7月)◆ 8か月連続で前年を上回った



■釧路・根室圏

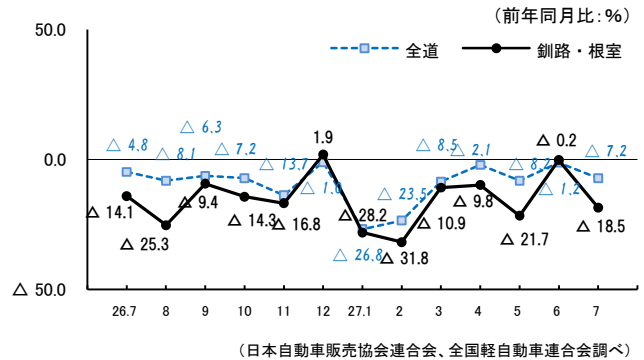
◆大型小売店販売額(全店、釧路市) (7月)◆

4か月連続で前年を上回った



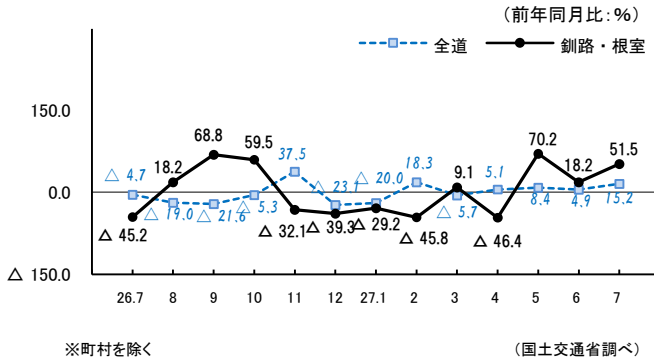
◆新車登録台数(乗用車) (7月)◆

7か月連続で前年を下回った



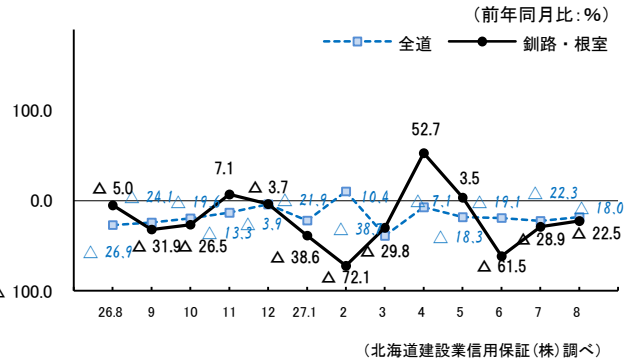
◆新設住宅着工戸数 (7月)◆

3か月連続で前年を上回った



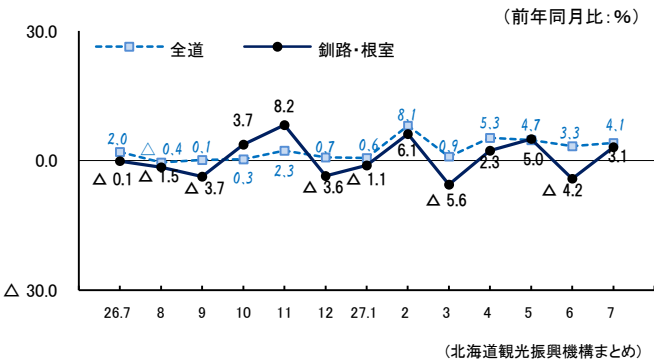
◆公共工事請負金額 (8月)◆

3か月連続で前年を下回った



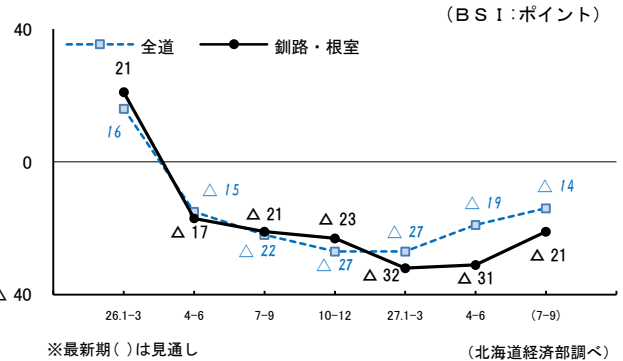
◆航空機利用による来道者数(着地別) (7月)◆

2か月ぶりに前年を上回った



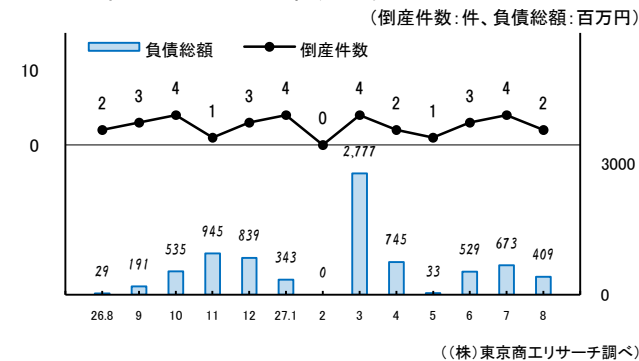
◆企業の業況感 (4-6月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



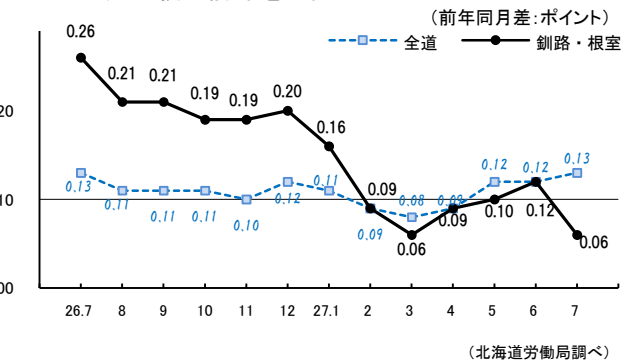
◆企業倒産件数・負債総額 (8月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率 (7月)◆

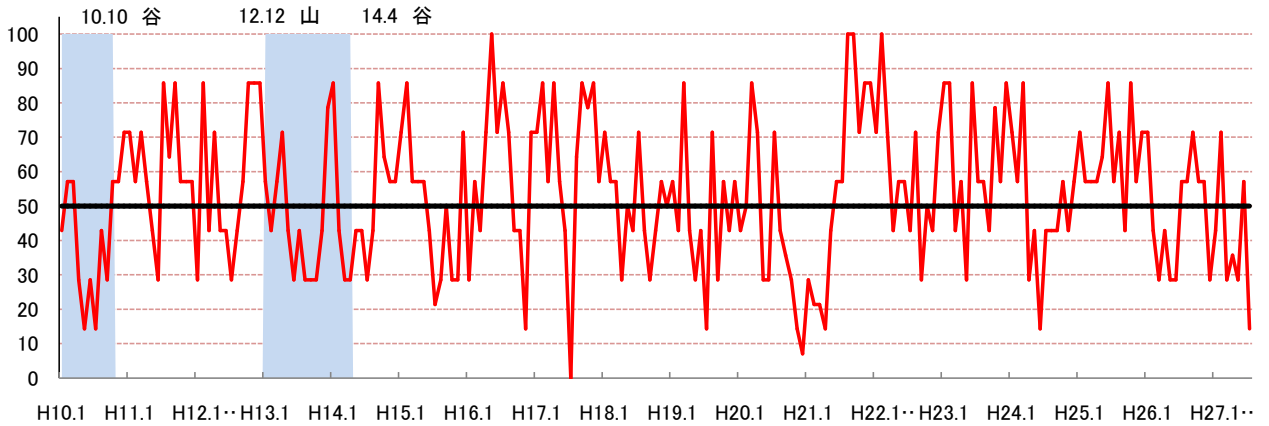
68か月連続で前年を上回った



[景気動向指数・全国の景気]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		26/ 7月	8月	9月	10月	11月	12月	27/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	-	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-	+	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+
	生産指数(生産財)	+	-	+	0	+	-	+	+	+	-	-	r-	p-
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	+	-	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-
	新設住宅着工戸数	-	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	-	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	-
	企業業況判断D.I.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	0
	拡張系列数	3	1	4	3.5	5	3	2	2	2	4	4	5	2.5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	42.9	14.3	57.1	50.0	71.4	42.9	28.6	28.6	28.6	57.1	57.1	r 71.4	p 35.7
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	+	+	-	-	-	+	-	-	-	+	+	-
	生産指数(鉱工業)	-	-	+	-	-	-	+	+	+	+	-	r-	p-
	出荷指数(生産財)	+	-	+	+	+	-	-	+	+	0	-	r-	p-
	大口電力使用量	-	+	-	+	-	+	-	+	-	-	-	+	-
	百貨店販売額(既存店)	+	+	+	+	+	-	-	+	-	+	+	r+	p-
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	-	-	+	+	+	-	-	+	-	-	-	+	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	+	-	-	+	+	+	-	-	-	-	r-	p-
	拡張系列数	4	4	5	4	4	2	3	5	2	2.5	2	4	1
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	57.1	57.1	71.4	57.1	57.1	28.6	42.9	71.4	28.6	35.7	28.6	r 57.1	p 14.3
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	-	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-	
	完全失業率(逆サイクル)	-	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	0
	消費者物価指数(総合)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	-	-	-	-	+	-	+	+	-	-	+	+	-
	生産指数(資本財)	-	-	-	-	-	-	+	-	+	-	+	r+	p+
	拡張系列数	1	0	1	0	1	0	4	3	3	0	2	2	2.5
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	80.0	60.0	60.0	0.0	40.0	r 40.0	p 62.5	

(注) 1 北海道経済部経済企画室 試算。PIは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

■全国の景気

我が国経済の基調判断

～景気は、このところ一部に鈍い動きもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。～

- ・個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっている。
- ・設備投資は、総じて持ち直しの動きがみられる。
- ・輸出は、このところ弱含んでいる。
- ・生産は、このところ横ばいとなっている。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、一部に慎重さがみられるものの、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、改善傾向にある。
- ・消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、アメリカの金融政策が正常化に向かうなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。こうしたなかで、金融資本市場の変動が長期化した場合の影響に留意する必要がある。

<内閣府月例経済報告(平成27.9.25)から抜粋>

最近の経済動向
平成27年9月号

編集・発行 北海道経済部経済企画室

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>